

子どもの読書活動の意義

子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの
(「子どもの読書活動推進に関する法律」第2条)

現状と課題

大阪府の子どもたちの不読率は高いが、読書の好きな子供は比較的多い。

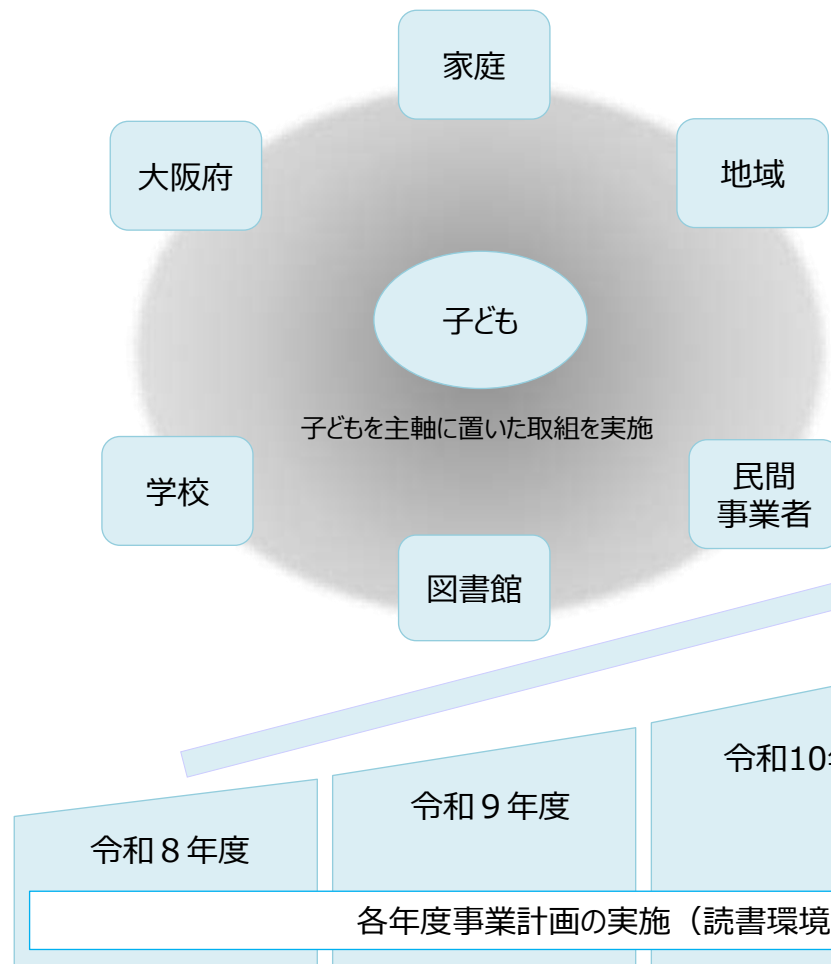
【読書をしていない、またはできない理由】

- ・読書をする時間がない
- ・読みたいと思う本がない。
- ・本を読むのがめんどろ

【不読率】

R7	小6	中3
全国	29.2%	41.8%
大阪	33.7%	47.5%

府・子どもの生活の場ごとの読書環境の整備



5年後の子どもの vision

一人でも多くの子どもたちが読書活動を行えるよう、読書を通して親しみ、学び、楽しさを共有する。

「豊かな心」や創造力や表現力等、さまざまな力を育み、社会に出るための基盤を形成するとともに、これからの人生をより深く「生きる力」を身に付ける。

- 【成果指標】①計画最終年度までに、「本を全く読まない子ども」の割合（不読率）を全国平均以下とする。（全国学力・学習状況調査結果数値）
 ②「本を全く読まない子ども」（不読率）の割合を毎年減少させる。
 ※全国学力・学習状況調査結果（文部科学省）による数値
 ※大阪府小学生すくすくウォッチ（小学5年生）、中学生チャレンジテスト（中学2年生）による数値

